

ほごしゃ みなさま 保護者の皆様

平成 30 年 6 月 18 日 7 時 58 分頃、大阪府北部を震源とした地震が発生し、大阪では最大震度 6 弱、木津川市では震度 4 が観測されました。学校では、日常的に避難訓練を行い、地震が起こった時の避難の仕方や心構えを学習しております。しかし、今回の地震は、登校の時間帯と重なっていたということもあり、子どもたちは様々な状況で地震に遭遇し、避難しました。幸いにも大きな事故につながることはありませんでしたが、近い将来に発生が危惧される南海トラフ地震など、今後このような大地震に遭遇する可能性が木津川市でもあります。また、台風の接近による風や雨の被害も全国的に見られ、木津川市においても、避難所開設、避難勧告等も発令されました。

今後、そのような事態に備え、子どもたちのかけがえのない命を守るためには、子どもたちの防災意識と知識・能力を高め、災害から身を守る力をはぐくむことが重要です。保護者の皆様にも、子どもたちと一緒に考えていただくことにより、家族の防災意識の向上や家庭や地域の防災対策に取り組んでいただきたいと思います。ご理解、ご協力をお願いします。



発行：木津川市役所

平成 30 年度

〒619-0286 京都府木津川市木津南垣外 110-9

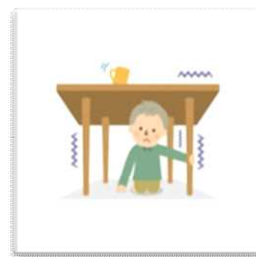
学校教育課 電話番号：0774-75-1230

危機管理課 電話番号：0774-75-1206

木津川市

ぼうさい 防災ハンドブック

さいがい
～災害から身を守るために～



みんなで、
防災について
考えよう。



小学校 3～6年生のみなさん

平成 30 年は、大きな自然災害がたくさん起こりました。大阪府北部を震源とした地震が発生し、木津川市でも大きなゆれがありました。たおれたブロック塀の下じきとなり、命を落とされた方や、家がこわれた方がいました。また、いくつかの台風が接近し、日本中で大きな被害がもたらされました。みなさんが住んでいる木津川市で地震や台風などによる災害が起こっても、みなさんの命を自分自身で守れるように、このハンドブックを読んで、災害に備えましょう。

じしん 地震発生！そのときあなたは？

【登下校中や建物の外にいますとき】

○ゆれを感じたら、頭を守りながら、危険なものから離れましょう。

・かばんや上着などで頭を守る。

・上から落ちてくるかわらやガラスに注意する。

・ブロックベいや自動販売機など倒れ
そうな物に近寄らない。

・あわてて車道に飛び出さない。



○ゆれがおさまったら、安全な広い場所へ逃げましょう。

・大きな地震が起こった時は、危険物や危険な
場所をさけ、学校か自宅のどちらか近い方に
避難する。

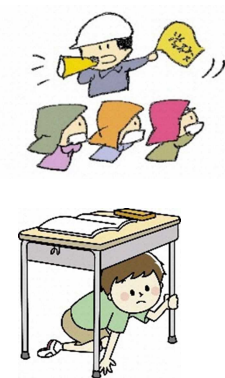


【学校にいますとき】

○避難訓練等で確認している避難の仕方にしたがって、ゆれがおさま
ってから安全な場所に避難しましょう。

・先生や校内放送の指示にしたがい、運動場など
の安全な場所に避難する。

・先生がいない場合や指示がない場合は、机の下
でゆれがおさまるのを待ち、おさまってから安
全な場所に避難する。



さいがい 身の回りにあるその他の災害

ゴロ ゴロ …。「かみなり」に、ご注意！

かみなりは、人に落ちると、死ぬこともあります。
かみなりの音が聞こえてきたり、光るのが見え
たりしたら、すぐに建物の中にひなんしましょう。

【外にいますとき】

・かみなりの音が聞こえたらすぐに、高い木や電柱から
はなれ、建物の中に入る。



「火事」は、人の不注意から！

火事は、地震などの自然災害ではなく、人の不注意でも起こり
ます。一番身近で気をつけなければならない災害です。

【火事を起こさないために】

・火を使っているときは、火から目をはなさない。
・ストーブの近くにカーテンなどの燃えやすい物を置かない。



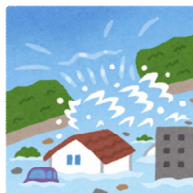
【火事に気がついたら】

・できるだけ早くにげる。一度にげたら、もどらない。
・けむりをすいこまないように、ハンカチで口と鼻をお
おって、姿勢をひくくして外に出る。
・火事が起こったことを近くの人に大声で知らせる。



大雨が降ると

台風やゲリラ豪雨などで、たくさんの雨が降ると、川がはんらんしたり、洪水が起こったりします。



【家のなかにいるとき】

- 大雨や洪水の気象警報、記録的短時間大雨情報などに気をつける。
- 避難所に避難するときは、長そで、長ズボン、スニーカーがよい。



【外にいるとき】

- 川や用水路は、水かさが増えたり、あふれたりするのでとても危険です。流されてしまうことがあるので、絶対に近づかない。
- 雨が降り続けると、山やがけがくずれやすくなる。近くに住んでいる人や近くを通るときは気をつける。

くがけくずれに注意するポイント>



- がけに、割れ目ができているとき
- がけから、水がわき出ているとき
- 小石がパラパラ落ちてくるとき
- 山全体がうねるような音がするとき
- くさった土のようなにおいがするとき

豪雨などが原因で、大量の土砂と水が混じり合っておしよせてくることを「土石流」や「てっぼう水」といいます。あっという間に、家や木をつぎつぎとなぎたおすので、とても危険です。川の近くに住んでいる人は、特に注意しましょう。

【自宅や建物の中にいるとき】

〇ゆれがおさまるまでは、机の下などで身を守り、ゆれがおさまったら、建物の外に出て安全な場所に避難しましょう。

- 物が落ちてきたり、たおれたりするところから離れて、クッションや雑誌などで頭を守る。



- じょうぶな机やテーブルの下に入り、机がたおれないように机のあしを押さえる。



- ゆれがおさまり、外に避難するときは、頭上から落ちてくるものやたおれてくるものに気をつけてあわてずに外に出る。
- ガラスが割れたり、ゆかに物が散乱したりしている場合は危険なので、くつやスリッパなどをはいて避難する。

地震について、家族と話し合おう

大きな地震が発生したときに備えて、避難する場所や連絡先を話し合っておきましょう。

【話し合いたいこと】

- いざという時に、避難する場所
- 家族の連絡先



じしん 地震が発生し、休校になるとき

大きな地震が発生した時には、学校が安全に学習できない状態じょうたいになっているかもしれません。また、その後に大きな地震かのうせいが発生する可能性があります。十分に気をつけましょう。

しんど きじゅん 【震度の基準について】

木津川市において「震度5弱」以上の地震が発生した場合は、臨時休校となります。

- ・下校後から夜中 24 時まで地震が発生 → 翌日臨時休校
- ・夜中0時から登校するまでに地震が発生 → 当日臨時休校

【震度とゆれの状態】 <気象庁HP 参照>

震度とゆれの状態との間には、次のような関係があります。

震度	ゆれの状態
0	ゆれを感じない。
1	びんかんな人が気づく。
2	屋内で静かにしている人が気づく。
3	屋内にいる人のほとんどが気づく。
4	電灯などが大きくゆれる。
5弱	家具が動き、たなの中の物が落ちる。
5強	何かにつかまらなると歩けない。ブロックベ이가くずれる。
6弱	立ていられない。まどガラスなどがわれる。
6強	はわないと動けない。木ぞうの建物がたおれる。
7	コンクリートの建物でもこわれる可能性がある。

テレビなどで報道ほうどうされる地震の情報を聞いて震度を知りましょう。

気をつけよう、はげしい雨や風！

さいがい じしん
災害は、地震だけではありません。大雨や台風も、様々な被害ひがいをもたらすことがあります。これを風水害ふうすいかいといい、代表的なものが、「洪水こうずい」と「土砂災害」です。日本各地で、毎年大きな被害が出ています。



台風 が近づいてくると



夏から秋にかけて、日本に台風がやってきます。

台風は、はげしい雨と風をもたらすため、大きな被害が出ることもあります。

【家のなかにいるとき】

- ・なるべく、外には出ないようにする。
- ・テレビやインターネットなどで、最新の台風情報を知る。
- ・風で飛ばされそうなものは、家の中に入れておく。



【外にいるとき】

- ・なるべく早く家に帰る。
- ・かさをさしていると危険きけんなので、合羽かっぱの方がよい。
- ・電線でんせんが切れていたら、ぜったいにさわらないようにする。
- ・風で、木などが倒たおれてきたり、屋根がわらや看板かんばんが飛ばされてきたりすることがあるので気をつける。

